

日芸みやぎ

日本大学芸術学部校友会
宮城江古田会 ニュース

「切手で綴る映画百年」出版

中島 斉・映画S36年度卒

学生時代に始めた切手収集も半世紀を超えました。映画が好きだった父のDNAを継ぎ、映画界への進む夢を抱いていたもののかなわず、映画切手の収集はその延長でした。

1895年、フランスのリュミエール兄弟により映画が誕生して以来、2度の世界大戦の混乱期を乗り越え、映画の都ハリウッドを中心に発展を続けて来ました。そこで、アメリカ・フランス・イタリアほか世界65カ国から発行された450枚超の映画切手コレクションをもとに、誕生から時代を追って登場した映画人を回顧。映画切手収集家のみならず、映画ファン諸氏が往時を偲ぶよすがとなればと願っています。（中島斉）

芸術学部木村政司学部長は「物を集めるきっかけはその物への好奇心か、その物を運命的に譲り受けた場合が多い。私も切手を小学生の低学年から親子で集め



フランスのリュミエール兄弟が1895年シネマトグラフ発明から100年を記念して発行。

(モナコ 1995年)



チャップリンの「モダン・タイムス」「黄金狂時代」「キッド」切手シート。(アンチグワ 2000年)



FMたいはくのトーク番組に出演。「映画愛」を語る中島斉さん。



てきた。切手 B5判164頁、発行所 株式会社 仙台七夕のというサイズと「竹紙」使用、切手の質感・手触りが素晴らしい。その世界観がたまらなく好きだった。この本のように、映画の世界にジャンルを絞って100年の映画史を徹底的に切手で楽しめるような出版企画はなかなか珍しい。著者である中島斉氏の映画への至上なる愛情と、収集への強烈な執念が伝わってくる。」

当会の森光正さん(映画学科S43年度卒)は「ページを送りながら切手の持つ味わいと作品中の登場人物を追憶しながら、映画の持つ豊饒な心象風景を感じとっております。映画界から足を洗って十数年、現在この本を手に取りながら馥郁とした映画の世界に浸っております」と感想を伝えています。

校正・出版した孔栄社の佐藤克行代表取締役は、「中島さんは紹介した映画の7割以上実際に見ており、作品紹介は映画誌以上だ。仙台七夕の竹で作った



スター最大発行量のマリリン・モンロー。(アメリカ 1995年)

「竹紙」を使用して製本、インクの乗りがよく、切手同様のしっとりした質感に仕上がった。ぜひ手に取って見て頂きたい」と話しています。

中島さんは、この「映画で綴る映画百年史」を11月3日から開催された全国切手展JAPEX2017に出品。文献部門で高い評価を受け、『大銀賞』を受賞しました。

芸術学部映画学科で中島さんの映画史講義あればOBの私たちも受講したいですね。（塚崎隆夫）

野田前学部長、綾部前校友会会長お世話になりました

野田慶人
前学部長

様々な江古田会イベントに積極的に参加され、エネルギーギッシュでアクティブな活躍ぶりが目立った塚崎前会長と桑折現会長。地方江古田会、引いては江古田会全体の活性化に大いに貢献されているお二人だと思います。

その功績の一つが、宮城江古田会二十周年時に記念イベントとして開催された東北アートフェスティバル。その開催にあたり、かねてから地方の受験生獲得の為に学部と地方江古田会との連携を模索していた私へ、宮城江古田会から「連携で地域の入試説明会共催」の申し出があり、初めて実現しました。東北フェスティバルは驚く程の規模で開催され大成功でしたが、入試説明会としては、課題が多々見つかり、意義深いものとなりました。未曾有の東日本大震災にも負けずに来年三十周年を迎える宮城江古田会。私はその十二年間を一緒に過ごさせていただきました。塚崎前会長、桑折現会長をはじめ、

会員の皆様の心強くあたたかいご理解とご協力、更にとっても仲良くして下さいまして本当にありがとうございます。深く感謝申し上げます。そして、三十周年、誠にありがとうございます。今後の宮城江古田会の益々のご発展を心からお祈りしております。

この度、野田慶人前学部長から学部のバトンを引き継ぎ、9月25日

木村政司学部長



付で新学部長を拝命しました木村政司です。野田前学部長から引き継いだことで重要なことの一つに、学部と校友のパートナーシップを深めることがあります。これは私も強く感じていることで、より一層の絆づくりに努力をしていきます。特に私の場合は、2015年3月に宮城江古田会の皆さんには大変お世話になりました。日本大学学長特別研究で始めた「エヌドット国際救助隊による災害復興、教育支援のための学生「絆」プロジェクト」の一環で、仙台で行われた国連防災世界会議のフォーラムにて発表する際、多くの校友の皆さん、そのお知り合いの皆さんのご協力を得て、開催することができました。これも桑折会長をはじめ、宮城江古田会の皆さんのおかげです。このような教育・研究のプロジェクトで地方の校友と深い絆が持てるようになったことは大きな成果でした。学生たちが卒業した後も校友会各支部のメンバーとして活動できるような日藝マインドを育てることが大切であると感じています。野田慶人前学部長、綾部東洋子前校友会会長、心よりご苦労さまでした。

宮城江古田会といえば、まず2008年せんだいメディアテークで開催した「アートフェスティバル・東北」のイベントでしょう。二日間に渡り支部の総力を挙げたこの開催が、現在のチームワークの礎となっています。学科も学年も異なり、在学中全く面識もなかった人たちが会議を重ね、春から秋へ苦労ばかりでお金にもならない事の為に炎天下に汗を流したあの情熱って一体どこから湧いてきたのでしょうか。宮城江古田会がなかったら、一生知らない同士だったかもしれない。たった一つの合言葉“母校は日芸”山形の佐藤美喜子さんにまで声を掛けて下さった星野さんありがとう。そういった地道なネットワーク作りがいつか実ります。宮城・岩手での被災地公演にみんなで助っ人に来てくれた事も忘れません。ありがとう。



被災地慰問の綾部東洋子前会長

木村学部長、田上校友会会長宜しくお願いします

宮城江古田会の皆様、こんにちは。本年7月の芸術学部校友会総会にて第11代会長に就任いたしました田上です。3期9年の永きにわたり、会長を務められた綾部さんの後を受け継ぐこととなりました。身に余る重責と日々身の引き締まる思いです。宮城江古田会は、来年創立30周年を迎えられると伺いました。桑折会長はじめ歴代会長を務められた依田様、塚崎様、そして校友の皆様には記念イヤーに向けた益々のご発展を祈念申し上げる次第です。さて2019年念願の全学年江古田修学「新生江

田上竣詞
校友会会長

古田計画」、そして、2021年学部創設100周年という大きな節目を迎え、校友会の真価が試されております。今後、ホームカミングデーなどを中心とした校友会員と学校の絆を深める為の施策や、就職支援活動など、我々職業人のキャリアを生かした施策など学生の皆様との交流も視野に入れ、活動して参りたいと思っております。

皆さまにおかれましては、どうか校友会行事等に積極的にご参加いただき、大いに日芸魂を発揮しご支援、ご教示頂ければ幸いに存じます。そして、繰り返し申し上げますが、宮城江古田会の益々の発展を心よりお祈りしております。

会員の活躍

第2回 日芸コンサート開催

星 久美子・音楽S51年度卒

満開の桜につつまれた4月15日(土)仙台市宮城野区文化センター・パトナホール(384席)に大勢のお客さまを迎え「日芸コンサート」を開催致しました。

昨年に続き2回目となる今回は、音楽大学とはひと味違う…より日芸らしさを目指し演奏に加え、放送学科卒の華道家・山田草女さんの生け花をはじめ昨年の演奏会の写真やアーティストRYOKOの絵画を出展しました。また、当日会場にて宮城江古田会の桑折支部長をはじめ5名の江古田会メンバーによる生け花のデモンストレーションもありまし



第2回日芸コンサート

た。今後も、8学科ある日芸ならではの独創性をいかし、てのコンサート開催に向けて一步一步取り組んでいきたいと思います。

(星 久美子)

ハサミの入れ方から生け花指導した山田草女さん(放送・S42 年度卒)は、「コンサート会場のホールが小さな花展会場になりました。桑折さんはじめ男性五人は皆様初めての生け花とのことですが、満開の吉野桜の枝を手にした姿は作品と共に一つの絵になっていました」とのことでした。



男性会員の初生け花、いかがですか

言葉のいろ 音のかたち

佐藤 円・放送H4年度卒

10月9日(体育の日)青葉区錦町のジャズスポット JAZZ ME BLUES noLaにて、シリーズで行っている朗読ライブを2年ぶりに開催しました。4年前からスタートしたこの企画は今回で6回目となります。私、音声詩人佐藤 円の担当ステージではピアノ弾き舞石美和さん(音楽H3年度卒)と一緒に、自作の詩の朗読と、ジャズあり、童謡あり、映画音楽あり、演歌ありのステージ構成で、専門外の飛び道具?も頑張りました。お帰りのお客様は皆笑顔で、特に塚崎先輩がニコニコなさっていたのが印象的でした。宮城江古田会から綺麗なお花も頂戴し、本当にありがとうございました。いいステージが出来ますようさらに精進いたします。

来年の「アートフェスティバル東北」にも参加できればと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。現在新しい演目を夢想中です。

(佐藤 円)



“飛び道具”のサックス、読経より上手い?

アートフェスティバル東北 平成30年開催 作品・ステージ演奏 募集します

宮城江古田会は平成元年に、日本大学校友会芸術学部会として発足、再来年に30周年を迎えます。これを記念し「アートフェスティバル東北」を開催いたします。会場は市民が気軽に立ち寄れる「せんだいメディアアタック」オープンスクエアを、開催時期は7月末を予定(会場・日時決定はH30年1月)しています。今回も各江古田会にも声がけて、ステージ演奏やトークの出演、絵画・写真・彫刻・工芸などの作品を募集しています。開催まで8ヶ月余り、皆様奮ってご参加宜しくお願いたします。



ピノキオバンドの演奏

宮城江古田会 平成29年度総会

6月3日

平成29年度の宮城江古田会総会は、6月3日(土)青葉区一番町の「ビストロ・ヤマライ」にて、木村政司芸術学部次長、豊島絃武校友会副会長、國分一彦岩手江古田会会長、深松勇校友会宮城県支部長、田邊裕靖通信教育部校友会宮城県支部長をお招きして開催されました。総会では、平成28年度の活動報告・会計報告、29年度の活動計画・予算が承認されました。議事に先立ち、依田掌初代会長に校友会から長年の功労に対して感謝状が贈られました。

依田掌氏「学生時代、映画科の研究室で八木さんが新入生、私が4年生でしたか、そんな出会いの歴史がありました。八木さんが学部長になられたと聞き、早速お祝いに駆けつけ昔の話に花が咲きました。当時から学生に親しまれた名物ラーメンをご馳走になり、帰り際に芸術学部ももっと地方の学生を集めたい。それには地方の校友会の充実が必要との話を聞き、帰途につきました。そんなきっかけで、仙台が比較的早く校友会を立ち上げることにな

りました」
依田初代会長のご努力から始まった宮城江古田会は、今年29年目を迎えました。

(酒井健樹)



豊島芸術学部校友会副会長より依田掌宮城江古田会初代会長に感謝状。



木村政司芸術学部次長(当時、前列左から3人目)をお招きして、宮城江古田会総会開催。

日芸祭2017 45,000人が訪れ賑わう

11月3日～5日

芸術祭改め「日芸祭2017」が江古田キャンパスで開催されました。テーマは「秘密基地」。学内各棟・大中ホール・中庭ステージ各所で各学科授業の紹介やライブ・コンサート・ミス日芸コンテスト・ラジオテレビの生放送・受験相談など様々なイベントが開かれ、在校生・受験生・保護者で賑わっていました。桑折会長と共に、木村学部長と野田前学部長、田上校友会長と綾部前会長表敬訪問。これまでの御礼と、次回アートフェスティ

バルや支部活動のご助言頂きました。皆様も進化を続ける江古田を訪ねてみませんか。(塚崎隆夫)



ライブなどで賑わう今年の日芸祭

会員訃報

小竿栄二さん (放送 S37年度卒) 7月 ご逝去
山本郁夫さん (写真 S34年度卒) 8月 ご逝去

ご冥福をお祈り申し上げます。

宮城江古田会 新年会 平成30年 1月 20日(土)

宮城江古田会新年会、今回は懐石料理です。

日時 平成30年1月20日(土) 17:30集合 17:40開始
会場 「松竹膳處(ぜんどころ)」 Tel.022-225-5591
仙台市青葉区大町2-10-23 グランビュー大町1F

会費 6,000円

会場は西公園通りの1本東、地下鉄東西線西公園駅東1出口が便利です。



【編集後記】・中島さんの表彰式一目見ようと、車と東武特急乗り継ぎ米大統領来日厳戒体制の東京に出て、大銀賞受賞祝うことができました。日芸祭に立ち寄り、学部長から猪木の「闘魂注入」の話、私たちは江古田から「若さの注入」受けました(K)。・第1回アートフェスティバルや東日本大震災時の野田前学部長のご支援、綾部前校友会長の被災地慰問に感謝(T)・「日芸コンサート」

来年は3月11日イズミティです(H)。・「おんなは読経」です(M)。
・会員の活動を会報に掲載いたします。下記に一報願います(S)。
発行責任者 桑折洋一
事務局 〒980-0802 仙台市青葉区二日町12-21
(南)アズシステム Tel:022-267-0894 Fax: 022-267-3798
Mail: koori@az-sys.co.jp